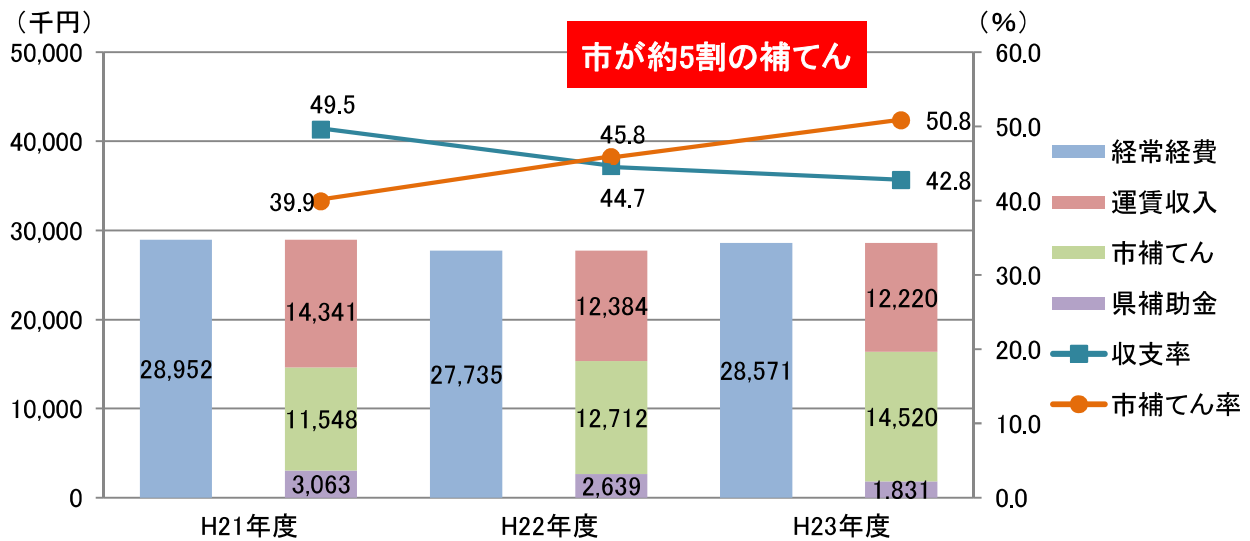


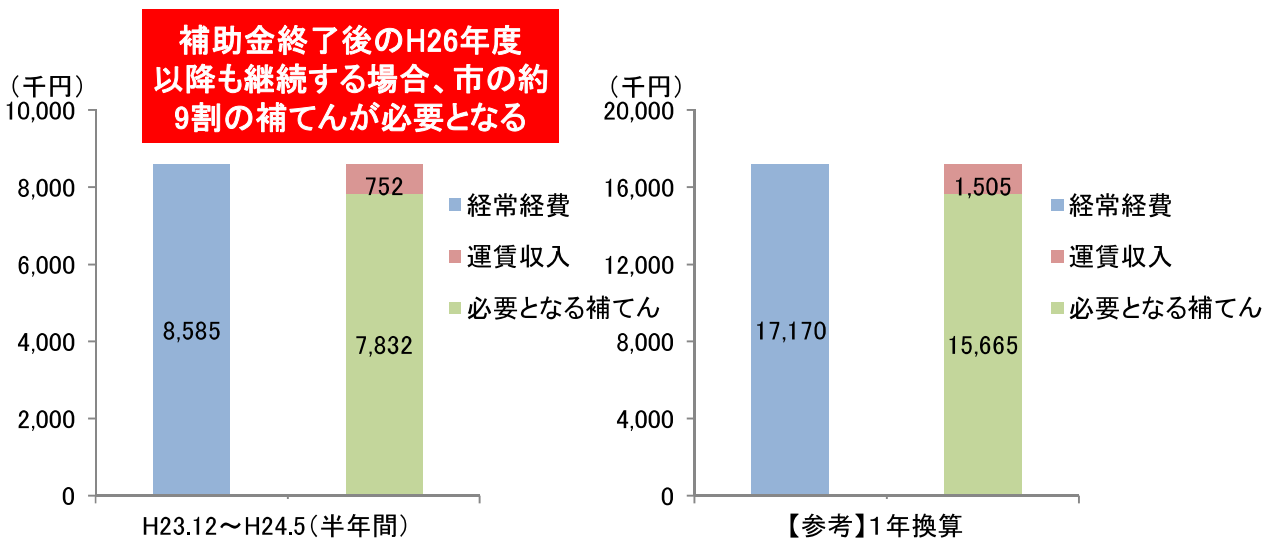
3 財政負担の現状

3-1 バス運行の損益状況

- ◆多賀城西部線の運賃収入はわずかであり、H26年度以降も継続する場合、9割程度の補てんが必要となる。
- ◆現在の東部線と西部線を維持するためには、年間約3千万円の負担金が必要となり、市民一人あたり約500円となる。

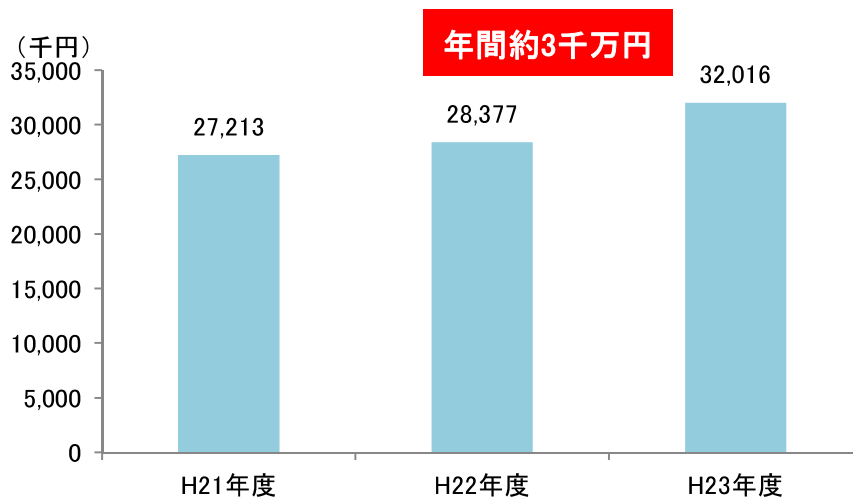


▲多賀城東部線の損益状況

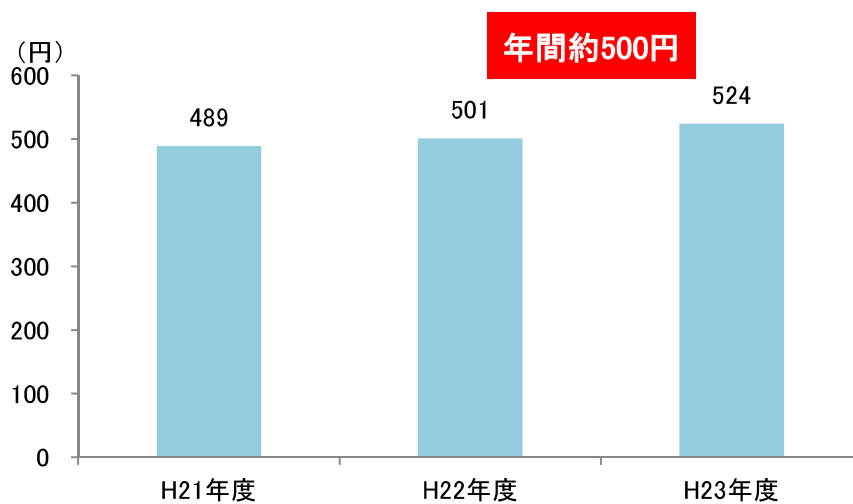


▲多賀城西部線の損益状況

▲【参考】多賀城西部線の損益状況(年換算)



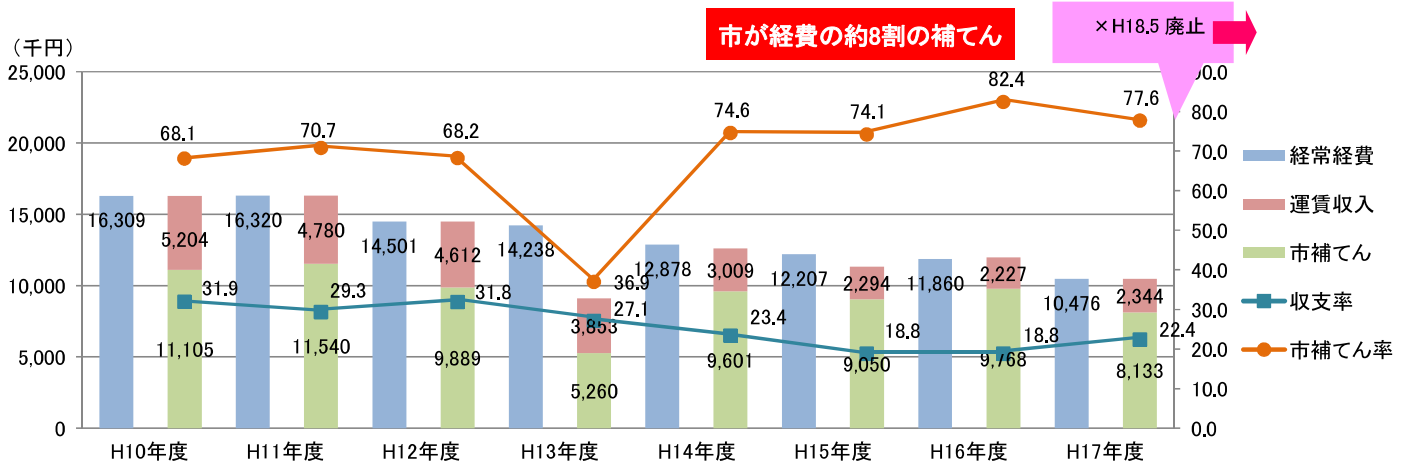
▲多賀城の路線バスの維持にかかる負担金



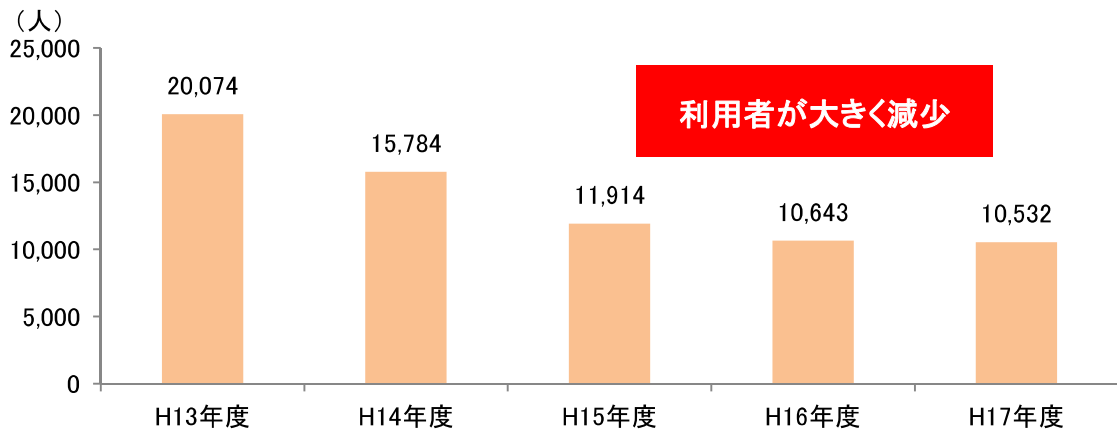
▲多賀城の路線バスの維持にかかる市民一人あたりの負担金

3-2 路線バス廃止の経緯

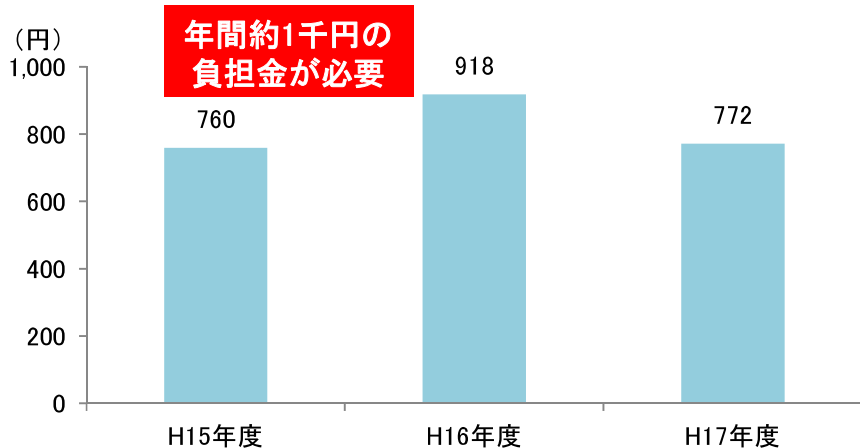
- ◆現在の多賀城西部線は特定被災地域公共交通調査事業の補助制度を活用して運行しており、H18年5月までは、多賀城西部線「ユーアイバス」として運行していたが、経常経費の8割程度を補てんしており、路線は廃止となった。
- ◆路線を維持するためには、利用者一人あたり約1千円の負担金が必要となる。



▲多賀城西部線「ユーアイバス」の運賃収入の推移



▲多賀城西部線「ユーアイバス」の利用者数の推移



▲多賀城西部線「ユーアイバス」の維持にかかる利用者一人あたりの負担金